

内谷市長の

## ゆるやか「ラム

「未来は明るいと感じられる

まちを目指して」



2月は、選挙やオリンピックの開催など、さまざまな動きのあった1カ月でした。

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、日本選手団が素晴らしい成績を収められました。特に女性や若者の活躍には元気をもらいました。選手の姿を見る中に、長井市も、女性や若者が活躍でき、未来に希望を持って暮らせるまちにしていきたいと思いを新たにしたところです。

衆議院議員総選挙では歴史的結果となり、第2次高市内閣が発足しました。今後国が打ち出す物価高対策について、本市でもしっかりと対応していく所存です。市民一人ひとりの暮らしが豊かになるような経済の活性化を目指し、安心して暮らせる社会となるよう、未来に向けたまちづくりに邁進してまいります。

さて市内では、2月7日にながい雪灯り回廊まつりが開催され、市民手作りのスノーランタンがまちを彩りました。商店街を中心に、いたる所で特色あるイベントが行われたほか、昨年

に引き続き、市内に住む外国人の方々によるご当地料理の振る舞いもありました。市民の皆様の協力により、にぎわいのある温かな夜となったこと、大変うれしく思っております。

21日には、長井の未来をつくる中高生アイデア会議が行われました。今年「長井の未来を10代の感性でデザインする」をテーマに、中高生の皆さんが考えた中心市街地活性化にかかわるアイデアの発表がありました。若い感性が光るアイデアは、これからのまちづくりのヒントとなるもので、多くのことを学ばせていただきました。今後長井駅前は、山形県による街路事業が本格化してまいります。本市でも「市街地再開発事業」という手法により、こどもからお年寄りまで買い物や食事を楽しみながら、遊び集えるまちを作る計画を進めています。長期間の計画となりますが、周りの5つの小さな拠点と合わせ、将来に渡って希望が持てるまちを目指してまいりますので、皆様からもアイデアやご助言をいただければ幸いです。